

令和 8 年度  
福島町議会  
定例会 5 月会議

令和 8 年 5 月 2 2 日 (金)

諸般の報告  
(第 1 号)

福島町議会

## 提出された案件

### 1 町長提出

議案第5号 定住促進住宅(2号棟)建築主体工事請負契約の締結について

議案第6号 財産(移動式エアコン)の取得について

議案第7号 令和8年度福島町一般会計補正予算(第3号)

### 2 町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

町長	鳴海 清春	副町長	小鹿 一彦
総務課長	小鹿 浩二	総務課参事	吉澤 裕治
企画課長	村田 洋臣		
教育長	小野寺則之	事務局長兼給食センター長	古一 直喜
監査委員	本庄屋 誠	監査委員	高田 重美

### 3 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	鍋谷 浩行	議事係長	山下 貴義
主任	角谷 里紗		

### 4 監査報告

5月13日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、国民健康保険診療所特別会計、水道事業会計  
浄化槽事業会計

### 5 常任委員会の調査報告

5月11日 総務教育常任委員会から所管事務調査の報告があった。

### 6 一部事務組合の報告

5月18日 佐藤孝男議員から令和8年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の報告があった。

### 7 議会に関連した諸行事(令和8年度福島町議会定例会4月会議後、本日まで)

4月27日 総務教育常任委員会(義務教育学校の設置)

〃日 議会運営委員会(定例会4月会議の反省)

5月8日 渡島総合開発期成会役員会(函館市 議長)

〃日 渡島町村議会議長会役員会(函館市 議長)

- 9日 町民森づくり植樹祭（佐藤議員ほか）
- 〃日 SUMOシンポジウムin福島（議長ほか）
- 10日 北海道女だけの相撲大会（議長ほか）
- 13日 第1回議会基本条例諮問会議（議長ほか）
- 15日 第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会（議長ほか）
- 16日 渡島西部四町議会議員連絡協議会スポーツ大会（木古内町 議長ほか）
- 18日 総務教育常任委員会意見書手交
- 〃日 議会運営委員会（議会だより）
- 20日 渡島総合開発期成会総会（函館市 議長）
- 〃日 観光協会総会（副議長）
- 22日 議会運営委員会（定例会5月会議の運営）
- 〃日 定例会5月会議

## **8 議会に提出された要望書等**

5月8日 福島吉岡漁業協同組合から要望書の提出があった。

## 常任委員会の調査報告

令和8年3月10日開催の令和7年度定例会3月会議で決定した休会中の所管事務調査について、次のとおり結果報告書の提出があったので、これを報告する。

令和8年5月22日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

### 記

#### 1 総務教育常任委員会

- ・調査事件1 義務教育学校の設置に向けた取り組みについて

福 議 委 号  
令和 8 年 5 月 1 1 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

総務教育常任委員会  
委員長 藤山 大

所管事務調査報告書の提出について

令和 8 年 3 月 1 0 日福島町議会定例会 3 月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第 1 4 8 条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	1 義務教育学校の設置に向けた取り組みについて
調査期間	令和 8 年 4 月 2 7 日
出席委員	委員長 藤山 大 委員 杉村 志朗 委員 平野 隆雄 副委員長 熊野 茂夫 委員 木村 隆 委員 溝部 幸基
委員外議員	議員 佐藤 孝男 議員 平沼 昌平 議員 小鹿 昭義
欠席委員	
出席説明員	町長 鳴海 清春 教育長 小野寺則之 教育委員会事務局次長 西田 真弓 副町長 小鹿 一彦 教育委員会事務局次長 古一 直喜 学校教育係長 太田 祥子
議会事務局職員	事務局長 鍋谷 浩行 主任 角谷 里紗 係長 山下 貴義

## **〔委員会意見〕**

### **調査事件 1 義務教育学校の設置に向けた取り組みについて（令和8年4月27日調査）**

義務教育学校の設置に向けた取り組みについては、「町立学校の今後の在り方」に関する所管事務調査（令和8年1月27日）において教育委員会からその方向性について示され、本委員会からは「町民への丁寧な周知・説明が必要であり、特に吉岡地区の住民に対し説明会等を開催すべき」との意見を付して報告しており、この度、「義務教育学校の設置に向けた取り組みの状況」について、資料が示されたことから、その内容を調査したので、調査結果を報告する。

### **【論点とした調査項目・意見】**

教育委員会から示された、義務教育学校の設置に向けた取り組みについては、一定の理解をしたが、次の事項について検討されたい。

#### **1 義務教育学校設置に向けた取り組みについて**

義務教育学校の設置に向けた取り組みとしては、これまで吉岡小学校生徒の保護者、吉岡地域住民への説明が行われているが、義務教育学校の設置は福島小学校・福島中学校の在り方（校名、校歌、校章、閉校行事等）についても大きく関わる問題であり、地元の学校を大切に思う気持ちは福島地区の住民も同様と思慮されることから、取り組みを円滑に進めるためにも、福島地区でも説明会を行い周知・理解されることが肝要と思慮するので検討されたい。

#### **2 学校施設の整備方針について**

義務教育学校の設置に当たっては、学校施設の整備方針として現在の学校施設を最大限活用した提案型プロポーザルにより進めるとのことだが、施設整備の現況は、全国的に資材価格や人件費の高騰、資材確保困難等で厳しく予測困難であり、想定した事業費やスケジュール通り進めることは難しいと懸念されることから、整備方針の検討にあたっては財源の確保も含め内容を十分精査しながら進めるよう検討されたい。

設備の老朽化が進んでいる学校給食センターについては、今後の維持管理を考慮すると学校施設と一体的に整備するか、給食センターを廃止し民間委託対応とするか等について検討する必要があると思慮する。

#### **3 総括意見**

義務教育学校の設置は、町の教育環境を大きく変える事になると考えるので、議会としても義務教育学校の在り方について理解を深め議論して行く必要があると認識している。

今後設立する準備委員会においては、先進地視察・関連情報収集を積極的に行い、熟議を尽くし、想定される義務教育学校のメリットを最大限実現し、デメリットを最小限に留める方策を充分検討するよう望む。

第6次総合計画については、学校施設の整備が当初予定していた事業内容と大きく異なることや、それ以外の事業計画についても、懸念される物価高騰等様々な要因から、総合計画全体の見直しを改めて行う必要があると思慮するので検討されたい。

## 渡島西部広域事務組合議会の報告

渡島西部広域事務組合議会より5月15日開催の令和8年第1回臨時会の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和8年5月22日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

### 令和8年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の 結果について (報告)

令和8年5月18日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

渡島西部広域事務組合議会議員  
報告者 佐藤 孝男

令和8年5月15日に開催された、令和8年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の結果を報告します。

#### 1 定例会の内容について

審議した議案は、財産の取得1件でした。

#### 2 行政報告の内容について

消防関係と衛生関係の行政報告がありました。

##### (1) 行方不明者の捜索について

3月14日(土)に松前町本町地区において、50代女性が行方不明となりましたが発見することが出来ず、15日(日)に捜査を終了しております。

##### (2) 可燃ごみの収集について

4月29日(水)に渡島廃棄物処理広域連合の処理施設「クリーンおしま」において、可燃ごみを保管するピット内で爆発に伴う火災が発生しました。

この火災の影響により当該施設及び中継施設での可燃ごみの受け入れが停止されたことから、各町において可燃ごみの収集を30日（木）より一時休止する措置を講じております。

その後西部4町で対応協議の結果、福島町千軒地区の一般廃棄物最終処分場へ一時仮置きすることとし、5月4日（月）より可燃ごみの受け入れを再開しております。

なお、本格的な復旧までは、相当な期間を要する見込みであり、渡島廃棄物処理広域連合では、ゴミ焼却の代替処理先として、函館市や苫小牧市等と具体的な協議を進めております。

## 2 審議した議案の内容について

件 名	内 容
議案第1号 財産（知内消防署水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型）の取得について <b>【原案可決】</b>	入札不落により、地方自治法施行令第167条の21項第8号に基づき、不落随意契約に移行し、次の額で随意契約による仮契約を締結した。 協議額 95,119,524円 消費税 9,511,952円 契約額 104,631,476円

※議案・関係資料は、議会事務局に保管してありますので、ご参照ください。

昆布保管施設の施設整備に係る  
要望書

令和8年5月

福島吉岡漁業協同組合



## 要 望 書

令和8年5月8日

福島町議会議長 溝部 幸基 殿

福島吉岡漁業協同組合

代表理事組合長 阿部 国雄



拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当組合に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当組合の水揚状況につきましては、近年、主力である養殖昆布が高値で取引され、事業計画を上回る水揚金額となり、漁業者の経営安定が図られていることは、ひとえに町からの多大なるご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

また、養殖昆布においては、順調な種苗生産や水揚高を背景に、高齢化等による世代交代も着実に進んでおり、今後も町の各種支援制度を活用しながら、担い手確保に引き続き取り組んでまいりたい所存です。

しかしながら、福島漁港内で養殖昆布等の作業に使用している倉庫は老朽化が進んでおり、入出庫の効率化及び出荷調整による価格安定を図るためにも、新たな保管施設の整備が必要であると考えております。

一方で、組合員数の減少に加え、昆布以外の魚種の漁獲量が落ち込んでいることから、依然として厳しい経営状況にあり、施設整備に必要な財源の確保が困難な状況にあります。

つきましては、町の主力漁業である養殖昆布を将来にわたり、安定的な生産・出荷できるよう、漁協といたしましても鋭意努力してまいりますので、養殖昆布保管・乾燥調製施設の整備につきまして、特段のご協力とご支援を賜りますよう、ここに強く要望申し上げます。